

令和6年度 外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業

「がん教育外部講師派遣」報告書

学校等名 長崎県立佐世保東翔高等学校

担当者名 山口 真紀子

電 話 (0956)38-2196

F A X (0956)38-2175

実施日	令和 6年 10月 22日(火) 13:00 ~ 16:00				
場 所	長崎県立佐世保東翔高等学校 第1体育館				
講座名	「がんについて正しく理解し、命の大切さを考える」				
講 師	みさかえの園あゆみの家 副施設長 岡田 雅彦 氏 (がん専門医)				
近隣校 への案内	案内先: なし				計 0 校
参加者	児童・生徒 学年 (257)人	学校職員 (20)人	保護者 (0)人	他校職員等 (0)人	その他 (なし)
	総計(277)人				
テーマと 内 容	○がんとはどのような病気かを知る がんの予防について・がん検診の大切さについて ○がんになった人の気持ちについて考える ○命を大切にするとはいどういうことか考える				

＜当日の様子＞ * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



＜講師からの指導や助言・成果＞

- ・誰もが「がん」になる可能性があるが、生活習慣をよくすることでリスクを減らすことができる。
 - ・がんは小さいうちに見つけると治りやすい。早期発見のためにがん検診を受けることが必要。
 - ・がんの治療は、自分の病気を正しく知り、自分で治療法を決めることが大切。(インフォームドコンセント)
 - ・生きている中でリダンダンシー(代わりになるもの)が効かない場所が必ずある。自分を大切に。
 - ・人は一人では生きていけない。「かけてはいけない迷惑」と「かけていい迷惑」がある。他人を大切に。
 - ・自立とは、不特定多数の人に支えられて立つこと。「支える人」になるために、想像力と行動力が必要。
- アンケートと感想文から、がんへの理解が深まり、命の大切さを考えることができたと感じている。

＜今後の取組及び課題＞

今後も生活習慣の改善や検診の大切さ、自分の命や他人の命を大切にすることなど、継続して指導していきたい。また、定期的に専門医による講演会を実施し、卒業までに一度はがんについて正しい知識を習得できるような機会を作っていきたい。